

## 流通経済大学

## 陸上競技部 後援会 会報誌

## 会報誌発行にあたって

このたび、流通経済大学陸上競技部後援会では、卒業生の皆様への情報提供活動の一環として会報誌を作成いたしましたのでお届けいたします。本会は昨年5月11日に、

母校陸上競技部の今後の発展の為の応援や援助、および卒業生の親睦の場の創出を目的に発足いたしました。今後とも継続的に会報誌を発行し、卒業生の皆様に母校陸上競技部の情報をお届けしたいと考えております。

なお、会報誌だけでは試合結果などをリアルタイムでお届けできない情報不足のため、ホームページを併せて開設いたしました。陸上競技部のホームページからご覧いただけますので、奮ってご利用いただけます。

すようお願いいたします。

本会では、会報誌やホームページの充実を図り、卒業生の皆様への情報提供は勿論のこと、卒業後のコミユニケーションツールとしての役割を担えるよう活動していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 後援会会長挨拶

後援会会長・清翔寮寮監

2007年卒業生 橋本 啓紀

今年も流通経済大学陸上競技部にフレッシュな新入生26名が入部してくれました。これで部員も100名を超え、かつて4名しか在籍

していなかったことは、新入生には理解し得ない嬉しい状況になっております。競技レベルも向上し、今年こそは関東インカレ1部昇格を目標に、日々練習に取り組んでおります。皆様には共に歓喜の瞬間を味

わってもらいたく、ぜひ試合会場に足を運んでもらえたらと思っております。

昨年には念願の寮が完成し、現在45名の部員が生活を共にしております。入寮当初は一人暮らしとは違い、なかなか集団生活に馴染めない部員もいましたが、今となっては毎日にぎやかな寮生活を送っております。寮監として働き甲斐がある状況です。「清翔寮」の名のもと、集団生活を通して、清らかな心を育み、皆様のような立派な社会人として、社会に羽ばたいても恥ずかしくないよう、寮監として努めさせて頂きたいと思っております。

時の流れは早いもので、田簍先生が本学陸上競技部に監督として着任してから9年が経とうとしております。わずか4名という、ほぼゼロからの再スタートでしたが、様々な方のご協力、ご支援があり、部の運営、競技を継続して行くことができました。今度は私達卒業生の出番

ではないでしょうか？世代ごとに思い入れは違うかとは思いますが、ですが、皆様は4年間築き上げた道のりは一緒のはずです。後輩達も皆様

と同じ気持ちで競技に向き合っています。後援会は皆様と陸上競技部の架け橋となり、互いに成長、発展を願い発足致しました。皆様には、ぜひご入会いただきご支援を賜りたく何卒お願い申し上げます。

この会報が皆様のお手元に届く頃には後援会が発足して1周年を迎えます。まだまだ至らぬ点が多いかと思いますが、母校陸上競技部の今後の発展および皆様との親睦の場の創出の目的の為に、会長の私をはじめ、役員一同、業務に邁進させて頂いたく所存でございます。また、今年の年末には総会の開催を予定しております。卒業後一同が集まることはなかなか難しいとは思いますが、世代を越えた交流を通して、皆様の貴重なご意見を本会に取り入れたいと思っておりますので、是非ご出席いただきませうようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご支援、ご協力を頂きながら充実した後援会活動を行って参りたいと存じます。今後とも母校陸上競技部、後援会ともども宜しくお願い申し上げます。

## 「流通経済大学陸上競技部

後援会が発足して」

監督 田養 健太郎

2013年5月11日に念願の後援会が発足しました。関東1部校を目指す陸上競技部として、これほど心強いことはありません。ご存じの通り、「伝統校」と呼ばれる大学の陸上競技部のほとんどに後援会があり、それらの伝統校と肩を並べたいえるでしょう。とくに、卒業生は、在学中に成し遂げることができなかった目標を後輩達に託し、「現在」の部員たちの活躍を心から願っていると思います。

一方、現在の陸上競技部は、100名を越す部員を抱え、中にはインターハイ優勝者や入賞者など、競技力の高い選手も所属しています。さらに、関東インカレでの成績も総合5位、フィールド優勝と着実に1部昇格のための階段を登りつつあります。必ず1部昇格を果たし、これから30年、50年、100年と「歴史」を確実に刻んでいき、「良き伝統」を創造したいと考えています。その中で、単に競技力の高い選手を評価、指導するような偏重した教育ではなく、競技力は低くとも、「一生懸命」に努力し、流通経済大学陸上競技部を愛する選手たちをこれからも見続け、陸上競技

部として一体感を持って、部の運営・管理にあたっていきたいと考えています。

お近くにお寄りの際は、是非、大学あるいは競技場に足を運んでいただき、部員たちを叱咤激励していただけるようお願いするとともに、今後ともご支援をいただけますようお願いいたします。

最後になりましたが、後援会の皆様のますますのご活躍とご健康を祈念いたします。

「卒業生の皆様へ」

1991年卒業生 後援会事務局

栗山 一弘

皆様いかがお過ごしですか？

今年は、陸上競技部が同好会より部に昇格した1985年から数えると30年目の年になります。部員数もとうとう100名を超える大所帯となり、部員同士切磋琢磨し、日々活気に満ちた活動をしております。これも皆様のこれまでの活躍が、陸上界に浸透してきた結果だと思っております。

私は、相変わらずグラウンドより

も事務室にすることが多く、陸上競技部のスタッフでありながら部員達との交流という点、競技会と一緒に運営することくらいかもしれませんが、競技会も2008年から開催しておりますが、部員全員が審判免許を持ち、最近では部員達だけでも運営できるまでになってきております。今年からは土・日曜の2日間開催もありますので、皆様にもぜひ競技会に参加いただき、後輩達との交流を図っていただきたいと思います。

ここ数年、母校陸上競技部は関東インカレで上位争いしており、今年も1部昇格をかけた戦いに臨みます。皆様にはぜひ陸上競技部後援会にご入会いただき、母校陸上競技部に更なる応援をお願いしたいと思っております。

末筆ではございますが、皆様の益々のご活躍を祈念しております。

「短距離・中距離について」

短距離ヘッドコーチ 田畑 亨

新緑の香りが漂い始めた今日のごろですが、皆様いかがお過ごしで

でしょうか。今年も短距離ブロックには新たに12名、中距離ブロックには4名が新加入してきました。今年度は、短距離ブロックの男子は、100mでは10秒代、400mは49秒代のベスト記録を持つ学生が多く加入してくれました。昨年のルーキー、黒澤君も順調に仕上がってきており、関東インカレでは、個人種目、4R、16Rなど、十分戦える戦力が揃ってきました。昨年からの世代が変わってからは、短距離種目でも得点を獲得しようと頑張ってきており、期待十分です。

中長距離では、松本君がフルマラソンにおいて2時間40分代で走るなど、着実に実力をつけてきています。

どちらにせよ、関東インカレでは、流経大短距離ブロックの存在感を示せる大会になりそうです。

彼らが十分に力を発揮できるように、先輩方の声援が必要不可欠です。

今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 「投擲ブロックについて」

投擲ヘッドコーチ 土井 宏昭

私は流通経済大学、陸上競技部に携わるようになって4年目になります。

初めは外部コーチとして1年間、当時の学生である吉原を筆頭とし、トレーニングの仕方や技術面に関しての指導をおこなってきました。

翌年の2012年4月から大学職員として働き始め、同時に陸上競技部の投擲ヘッドコーチとなりました。

練習はもちろんの事、各記録会や大会に帯同するようになり、出身大学が東海地区であった私にとって関東の大学にとって関東インカレへの思い入れを強く感じました。

1年生の頃から体作りを頑張ってきた学生が4年生になり、たくさん先輩達から託された関東インカレ1部昇格を胸に、今年の投擲は卒業生の期待に応えられると思います。

また、まだ6人しかいない投擲の女子ですが、関東インカレでは入賞を目標とし、全日本インカレに出場できるように頑張っていますので応援をお願いいたします。

今年度の関東インカレの見どころとして

主将である、三淵(4)のやり投げ4連覇!

春に60Mを超えた古澤(4)が学校対抗でどこまで活躍できるか!?

怪我に悩まされていた鈴木(3)が今年こそ入賞を目指す。

ハンマー投げは、根本(3)の2連覇!それを阻止しようと後輩たちの下剋上を目標に、表彰台の独占!

そして、女子の方でも経験で勝る主将の小川か、高校時代に50Mに乗せた1年生の大和の対決も見ものと思います!

円盤投げでも、根本の2連覇。加藤(2)がそれを阻止できるのか!?

砲丸投げ!ここでも根本の上位入賞、待山(3)の入賞に期待。

上記の事から今年が流大投擲で最強の年となると思います。

是非、関東インカレに足を運んでもらって、応援をお願いいたします。

### 「短距離・混成について」

短距離・混成コーチ 田中 悠士郎

今年も多くの新入生を迎え入れ、副主将の飯倉祐樹(スポーツ健康科学部4年)、短距離ブロック長の武

田空樹(100)200ブロック・ス

ポーツ健康科学部4年)と宮内将良

(400ブロック・スポーツ健康科

学部4年)、混成ブロック長の、小

松崎朋実(スポーツ健康科学部4

年)が中心となり、短距離及び混成

ブロックにおける、日々のトレーニ

ングは活気づいている。

今シーズンの注目は、昨シーズン、

急成長を遂げた黒澤光(スポーツ健

康科学部2年)に加え、新入生の斉藤

颯斗(100m・秋田市立秋田商業

高出身)と本田純基(400m・千葉

県立船橋法典高出身)が、すでに関東

インカレの標準記録を突破し、個人

種目での活躍が期待できる。また、

斉藤や本田以外にも有望な新入生

が多く加わり、リレー種目の関東イ

ンカレ決勝進出を狙っている。女子

の短距離では、森川葵(スポーツ健

康科学部4年)が昨シーズンの茨城

県選手権2位(12, 38)という好

成績を残しており、今シーズンは昨

年以上の活躍を期待している。さら

には、男子十種競技においてB標準

突破者が川村捷(経済学部3年)と

大濱暢祐(スポーツ健康科学部2

考争いも熾烈である。

### 「跳躍ブロックについて」

陸上競技部コーチ

後援会事務局長

2010年度卒業生 小川 翼

後援会が発足して、約1年になら

うかとしています。橋本会長の代か

ら、現在の陸上部員まで、全学年に

関わっている卒業生としては、部員

も100名を超え、1部昇格目前ま

で来た部にうれしく思う反面、卒業

生代表として、後輩たちに出来る事

は何だろうか、日々考えています。

今後も後輩の指導、支援はもちろ

の事、卒業生と現陸上部の架け橋に

なれるように、精進していきたいで

す。

跳躍ブロックは今までになく、多

くの新生を迎え入れました。

副主将でブロック長の菅原敬弥(ス

ポーツ健康科学部4年)を中心に今

年度は例年以上に関東インカレで

活躍できる選手がそろいました。

注目一つ目は、男子走り高跳びの

関東インカレ選考会である。今まで

かつて、跳躍において選考をしなけ

ればならない種目は一つもありませんでした。

昨年、日本選手権、国体に出場している菅原敬弥、新入生の横戸寛之（スポーツ健康科学部1年）の2名がA標準を突破している。B標準は現在、3名が突破しています。

更に、最近、調子を上げてきた、市村脩人（スポーツ健康科学部3年）ベスト記録ではA標準以上の持ち記録を持つている。上記の事から白熱した代表争いが繰り広げられるでしょう。

注目二つ目は、男子三段跳びです。坂口貴志（経済学部2年）はA標準まで1cmと迫る、14m39cmの記録を昨年度残しており、今年度の流大記録会では、追い風参考記録だが、14m53cmと昨年度より成長が見られる。

卒業生の皆様には、是非、関東インカレの会場に脚を運んでいただき、1部昇格を皆で応援していただければと思います。

「男子主将として卒業生の皆様へ」

三淵 和也

流通経済大学陸上競技部を卒業した先輩の皆様、現在陸上競技部主将を務めさせていただいております。三淵和也と申します。

私が入学した2011年の部員数は約50名ほどだったと記憶しておりますが今年4月ついに陸上競技部は100名を超える部活にまでなりました。その部活の主将であることを誇りに思います。

さて、陸上競技部は田籾先生が監督に着任してから変わらず“関東1部昇格”を目標に掲げており、昨年は流大最高点の60点を獲得し、2回目のフィールド優勝を果たしました。しかし結果は総合5位とあと1歩届かず悔しい思いをしました。

今年の敵は、慶應義塾大、青山学院大、東京農業大、東京学芸大とどこも総合力のある大学ですが、私たちが流大陸上部は前年度優勝した者は“連覇”、入賞した者は“上位入賞”入賞逃した者は“入賞”おしくも出場果たせなかった者は“出場をする”という姿勢で、今年こそは関東インカレ1部昇格を成し遂げたいと思います。

先輩方により報告ができるように精一杯頑張りますので、今後ともご声援の方宜しくお願い致します。

「女子主将として卒業生の皆様へ」

小川 瑞紀

現在女子部員は年々少しずつではありますが、増えている傾向にあります。個々の目標は様々ですが皆目標に向かって努力をしております。男子が掲げている「関東インカレ1部昇格」という目標は、1部しかない女子には直接関係はありませんが同じ舞台で戦うという面では目標に対する志は同じだと認識しております。また、個人種目で関東インカレやそれ以上の大会に出場する選手も増えてきました。また、近年では高校時代にインターハイ、国民体育大会などに出場、入賞してきた選手が何人も入学し、陸上部に所属をしています。

女子ブロックとしての目標は、「一人一人が自分の種目で大会に出場すること。またステップアップすること」だと考えています。個々のレベルはもちろん違ってくるものなので、自分が今出せる力を最大限に発揮していつてほしいと思います。

簡単ではありますが女子ブロック

クはこのようなスタンスで練習に励んでおります。男子部員と比べてしまうと人数はかなり少ないですが個々でしっかり輝いて男子に負けないくらい盛り上げていこうと思います。応援宜しく願います。

## 今年度試合日程

日程	大会名	場所
5月16～17日	関東学生陸上競技対抗選手権大会	熊谷陸上競技場
5月24～25日	関東学生陸上競技対抗選手権大会	日産スタジアム
6月6～9日	日本陸上競技選手権大会	福島
6月7日	第4回流通経済大学陸上競技記録会	たつこのフィールド
6月20～22日	日本学生陸上競技個人選手権大会	BMW スタジアム平塚
7月4～7日	茨城県選手権大会	笠松運動公園
7月26～27日	第5回流通経済大学陸上競技会	たつこのフィールド
7月27日	トワイライト・ゲームス	代々木公園陸上競技場
9月5～7日	日本学生陸上競技対抗選手権大会	熊谷陸上競技場
9月20日	第6回流通経済大学陸上競技会	たつこのフィールド
9月22～23日	関東学生新人陸上競技選手権大会	熊谷陸上競技場
10月3～5日	日本ジュニア選手権	瑞穂陸上競技場
10月18日	第7回流通経済大学陸上競技会	たつこのフィールド
11月15日	第1回流通経済大学投擲・中長距離記録会	たつこのフィールド
12月6日	第2回流通経済大学投擲・中長距離記録会	たつこのフィールド
2月21日	第3回流通経済大学投擲・中長距離記録会	たつこのフィールド
3月28～29日	第8回流通経済大学陸上競技会	たつこのフィールド

☆第93回関東学生陸上競技対抗選手権大会のチケット配布について

会費を納めていただいております会員の方につきましては、5月16～17日、埼玉県熊谷陸上競技場入り口、5月24～25日、神奈川県日産スタジアム入り口にて、流通経済大学の学生が、のぼり旗を持って立っておりますので、そちらでチケットを配布いたします。

また、会費を納めていただいて無い方につきましては、その場で、会費をお支払いいただければチケットをお渡しいたします。

・ホームページについて

5月1日より後援会ホームページを公開いたします。陸上競技部のホームページに、リンクを張っていただきますので、陸上競技部のページをご確認下さい。後援会の情報を随時アップいたしますので、よろしくお願いたします。

## 平成25年度結果報告

■第92回関東学生陸上競技対抗選手権大会2部 総合5位  
フィールド優勝（2年ぶり2度目）

- ・やり投げ1位
- ・砲丸投げ6位
- ・円盤投げ1位2位
- ・ハンマー投げ1位2位3位
- ・女子ハンマー投げ7位
- ・走り高跳び2位8位
- ・棒高跳び8位

■トワイライト・ゲームス

- ・走り高跳び4位
- ・やり投げ7位

■日本ジュニア陸上競技選手権大会

- ・ハンマー投げ3位5位

■日本陸上競技選手権大会

- ・走り高跳び13位